JSP

スラブ型枠兼用断熱ボード（押出法ポリスチレンフォーム断熱材）

ミラック® スラブライト

株式会社 JSP

ミラック® スラブライト

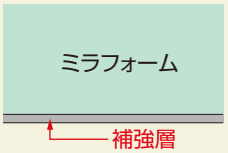
特殊補強層

スラブ型枠省略

高 強 度

ミラフォームに補強層を複合していますので、耐久性があり踏み抜きに強い!!また、曲げ強度もアップします。

断面図



施工性のアップ 解体後は支保工の取り出しだけ! ピットスラブにも最適です。

軽　量 型枠用合板の1/5 約2kg/枚。軽量で取り扱いやすいので工期短縮が可能です。

低コスト 工程の省力化によるコストダウンが可能です。

環境保全 型枠用合板使用率カットで、森林資源の節約になります。

ミラックスラブライト	端太・桟木・支保工建込み	型枠合板敷込み	ミラックスラブライト敷込み	配筋	コンクリート打設	端太・桟木・支保工解体	合板解体	桟木・支保工解体片付け
在来工法	端太・桟木・支保工建込み	型枠合板敷込み	断熱材敷込み	配筋	コンクリート打設	端太・桟木・支保工解体	合板解体	端太・桟木・支保工合板片付け

施工手順

物　性［代表値　30mm・50mm］

項　目	単　位	ミラックスラブライト 30mm	ミラックスラブライト 50mm	備　考（試験方法他）
熱伝導率（λ）	W/(m・K)	0.028以下		JIS A 9521
熱抵抗（R値）	m^2・K/W	1.1	1.8	
密　度	kg/m^3	25以上		JIS A 9521
曲げ強さ	N/cm^2	65	45	JSP法
	kgf/cm^2	6.6	4.6	
曲げ弾性率	N/cm^2	3050	2500	JSP法
	kgf/cm^2	311	255	
圧縮強さ	N/cm^2	20以上		JIS A 9521
吸水量（フォームのみ）	$g/100cm^2$	0.01以下		JIS A 9521

※上記曲げ強さ・曲げ弾性率は、測定値であって保証値ではありません。

規　格（mm）

	厚さ	幅	長さ	JISグレード
ミラックスラブライト	30・35・40 45・50	910	1820	3種bA XPS3bA

※上記厚さ以外は、お問い合わせください。

⚠ 注意事項

●施工中は極力端太上を歩くなど、踏み抜きには十分注意してください。
●火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙を発生します。従って、輸送、保管、施工などに際しては火気に十分注意するとともに、適切に養生してください。溶接溶断に当たってはご注意ください。

根太間隔計算例

[条　件]

●ミラックスラブライトにかかる鉛直荷重の算出

鉄筋コンクリートの自重（厚さ15cmの場合）	2,400kg／m²×0.15＝360kg／m²
ミラックスラブライトの自重　30mm品	1.2kg／m²≒ 2.0kg／m²
衝撃・作業員・資材などの荷重（JASS.5による設計荷重150kg／m²を考慮）	150kg／m²
合計	512kg／m² = 0.0512kg／cm²

●許容たわみ量――3mm

●ミラックスラブライトの許容曲げ応力度 = 曲げ強さ×1／2

[計算結果]

$$\ell_1 = \sqrt[4]{\frac{384\times E\times b\times h^3\times \delta c}{5\times \omega\times 12}}$$

$$\ell_2 = \sqrt{\frac{4\times \sigma\times b\times h^2}{3\times \omega}}$$

ℓ_1：曲げ弾性率より算出した端太ピッチ（cm）
ℓ_2：曲げ強さより算出した端太ピッチ（cm）
E：曲げ弾性率（kgf/cm²）
σ：曲げ強さ（kgf/cm²）
b：幅（cm）〈単位長さとして考える〉
h：パネル厚み（cm）
δc：許容たわみ（cm）
ω：単位幅コンクリートの側圧（kg/cm²）
※端太ピッチℓ_1, ℓ_2, を比較して小さい値を採用値とする。

●30mm使用時

$$\ell_1 = \sqrt[4]{384\times 311\times 1\times (3)^3\times 0.3 / 5\times 0.0512\times 12} = 23.5\,(\text{cm})$$

$$\ell_2 = \sqrt{4\times 3.3\times 1\times (3)^2 / 3\times 0.0512} = 27.8\,(\text{cm})$$

つまり、ℓ_1< ℓ_2 より端太ピッチは、23.5cm以下となります。

ミラックスラブライトの端太ピッチ

ミラックスラブライトの端太ピッチ一覧表

端太ピッチ：芯芯で表記（単位：mm）

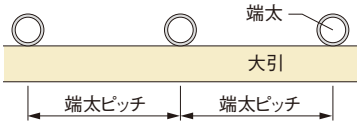
ミラックスラブライト厚さ	端太の種類	スラブ厚さ（mm）					
		150	180	200	220	250	300
30mm	丸パイプ50φ	235	225	225	220	215	205
	角パイプ50·60角	285	280	275	270	265	255
35mm	丸パイプ50φ	235	230	225	220	215	205
	角パイプ50·60角	285	280	275	270	265	255
40mm	丸パイプ50φ	275	270	260	260	250	240
	角パイプ50·60角	300	300	300	300	300	290
45mm	丸パイプ50φ	300	300	300	300	290	280
	角パイプ50·60角	300	300	300	300	300	300
50mm	丸パイプ50φ	300	300	300	300	300	285
	角パイプ50·60角	300	300	300	300	300	300

ミラックスラブライトは、上記端太ピッチ以下で施工をお願い致します。
端太は、なるべくミラックスラブライト長尺方向に対して直交するように配置をお願い致します。
上記は、計算によるシミュレーションであり保証値ではありません。

施工のポイント

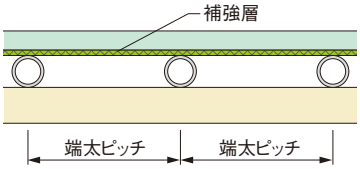
1.端太の取付け(ミラックスラブライト)

●端太ピッチは次項の一覧表を参考に施工してください。



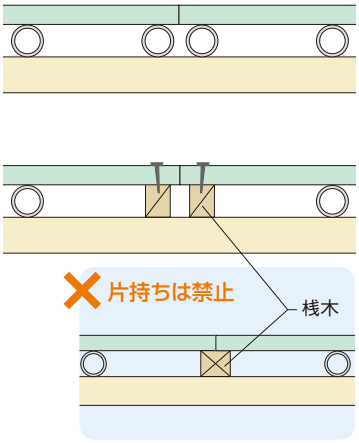
2.ミラックスラブライトの敷込み

●補強層を必ず下面にセットしてください。

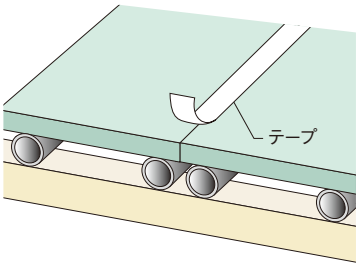


3.継　手

●継手部は、必ずダブルで端太を取り付けてください。(片持ちは禁止)

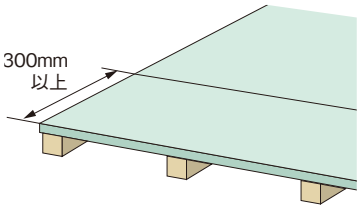


●飛散防止のため、継手部はテープ止めか桟木により固定してください。
※テープ止めは、ノロ防止としても使用できます。



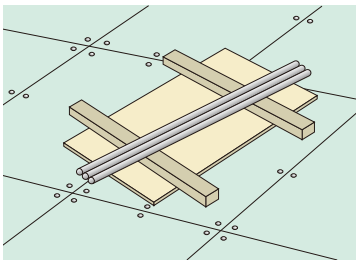
4.断裁使用

●ミラックスラブライトの最小使用幅は300mm以上としてください。さらに作業の安全性の点から出来るだけ端部の使用は避けてください。



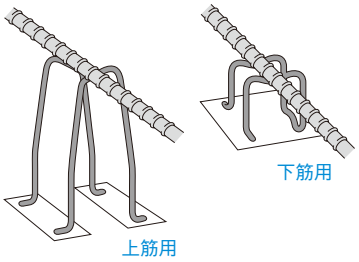
5.作業足場

●鉄筋・脚立などの集中荷重がかかる場合は、コンパネなどで保護してください。



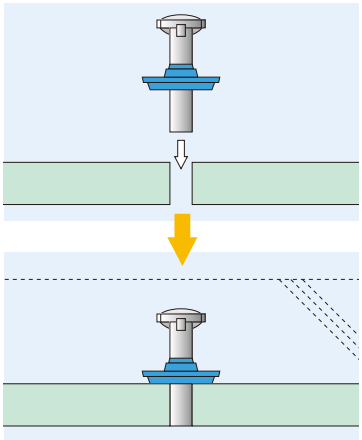
6.スペーサーのセット

●鉄筋の敷込みおよび結束後スペーサーは、断熱材用を使用してください。

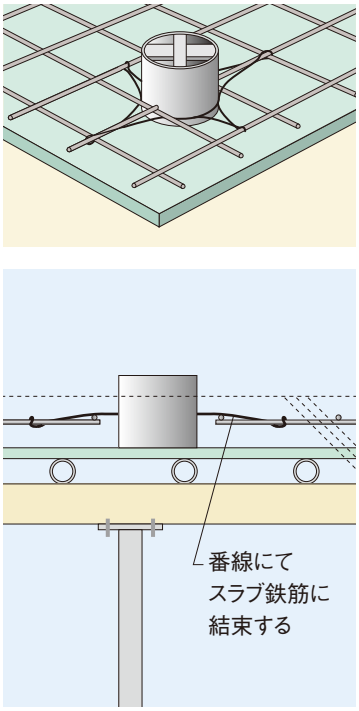


7.インサートのセット

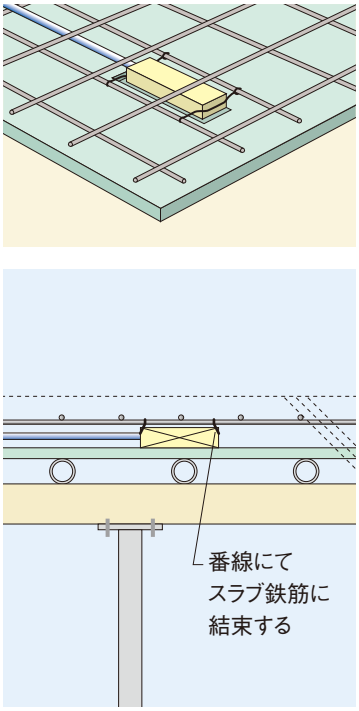
●鉄筋の敷込みおよび結束後インサートは、断熱材用(台座付き本体スライドタイプ)を使用してください。
(取付の時衝撃を加えなければ入らないインサートは使用しないでください)
インサート用の孔あけは、専用ポンチではフィルム面を貫通しない場合がありますのでドリルを使用してください。



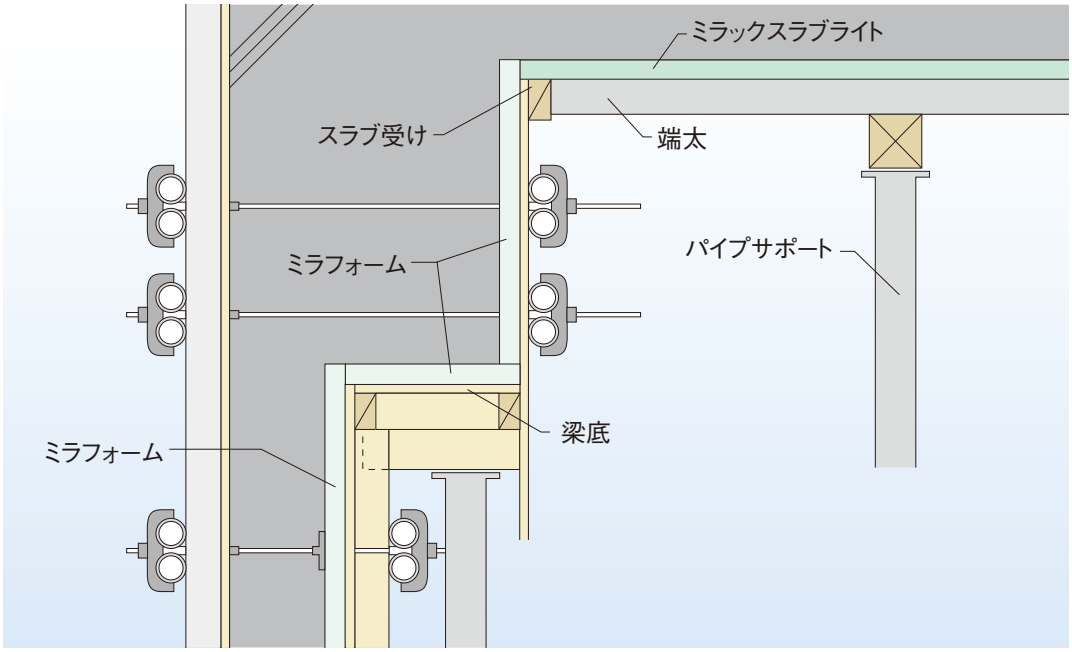
8.スリーブ　取付



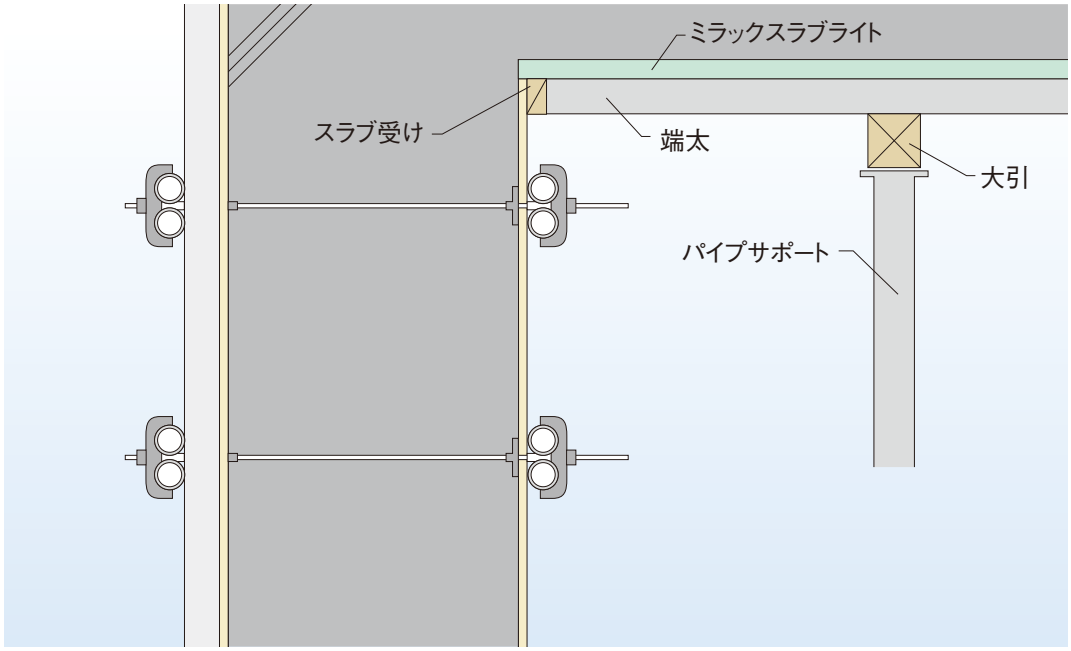
9.プルボックス　取付



●壁、梁、スラブ

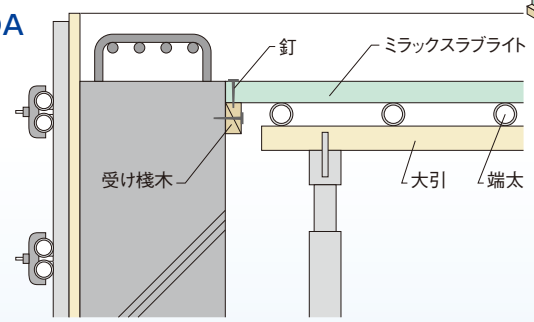


●ピットスラブ

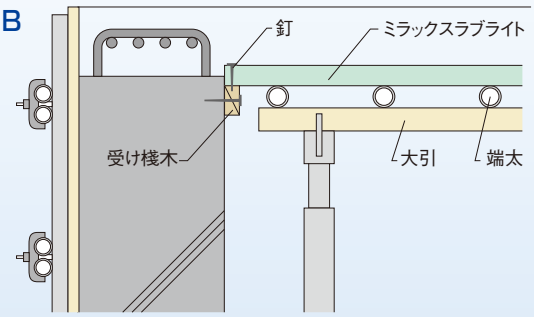


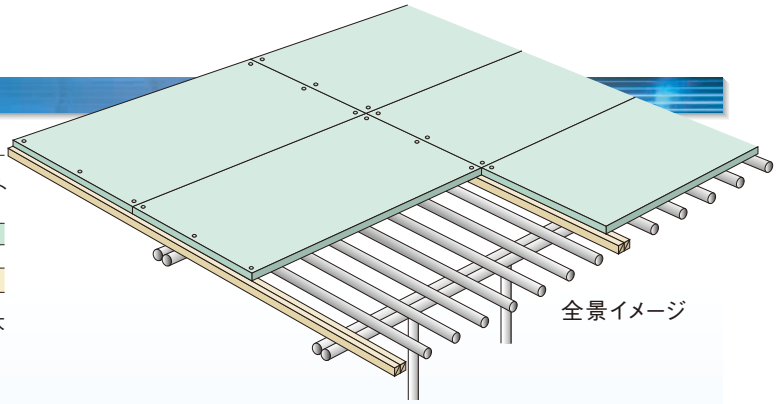
地中梁との取合い　納まり図

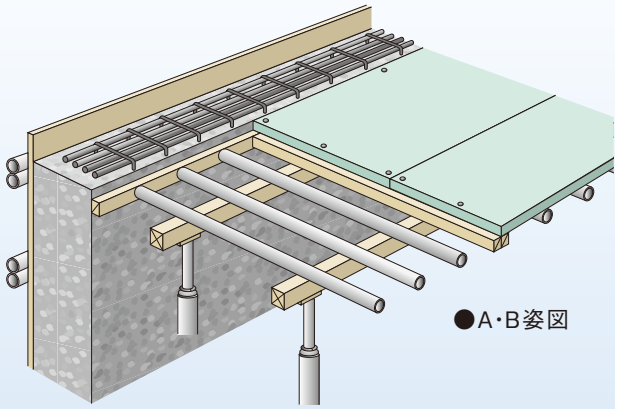
●A



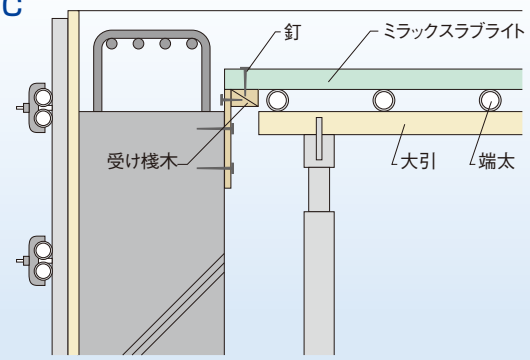
●B

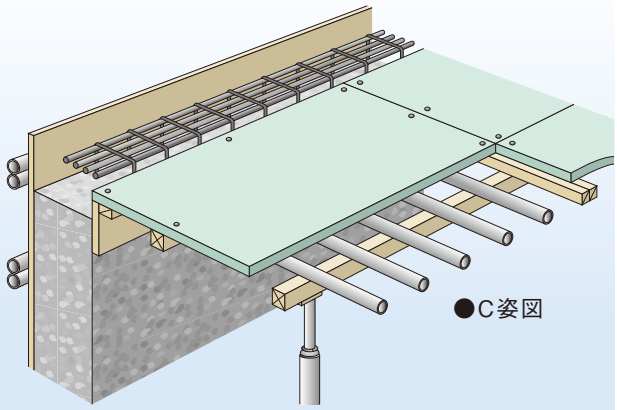



全景イメージ


●A・B姿図

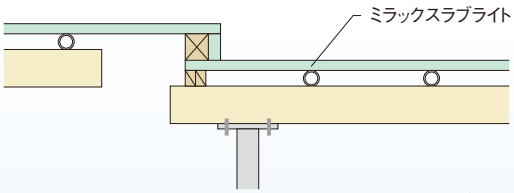
●C



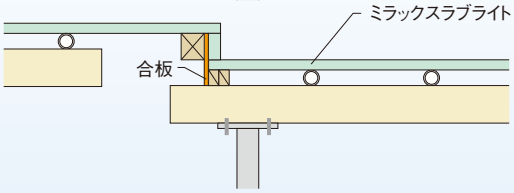

●C姿図

スラブ段差部　納まり図

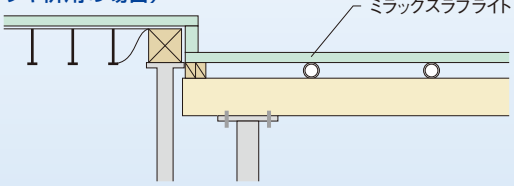
●A



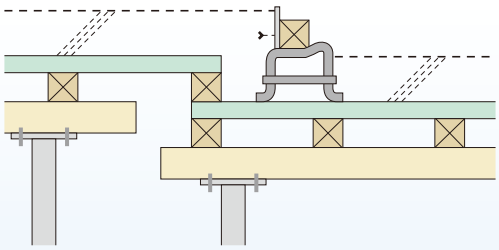
●B



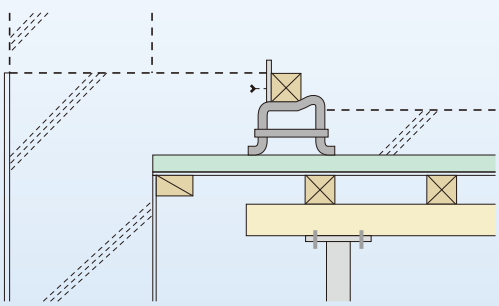
●C（デッキ併用の場合）



●D

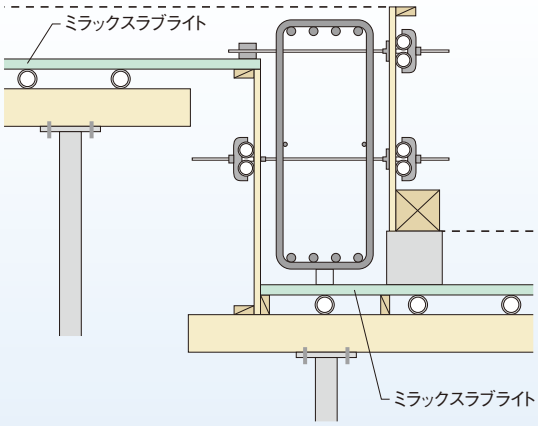


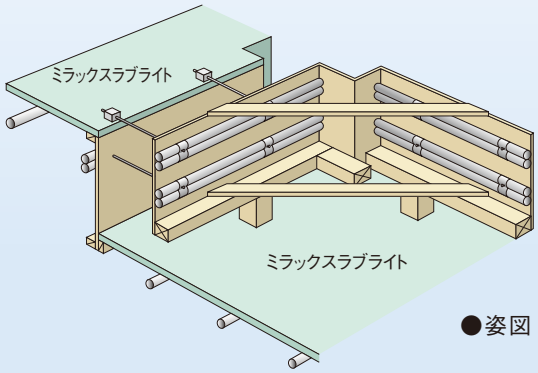
●E



納まり図

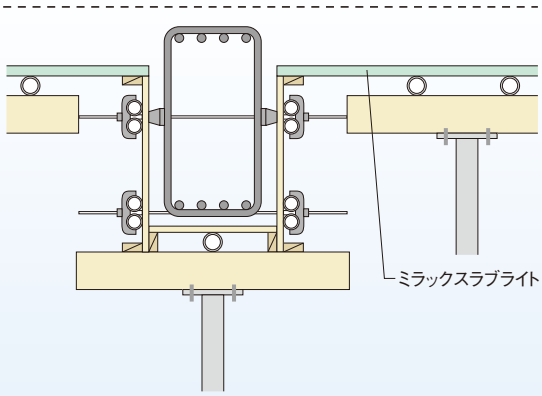
●梁との段差部

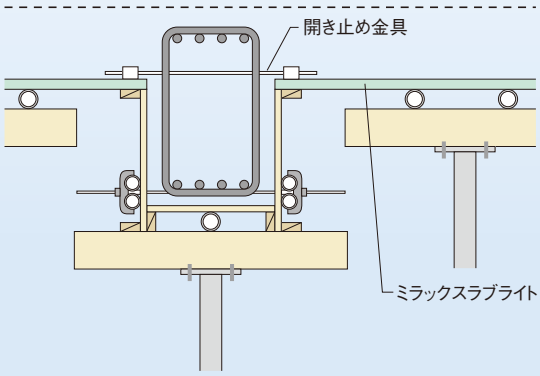




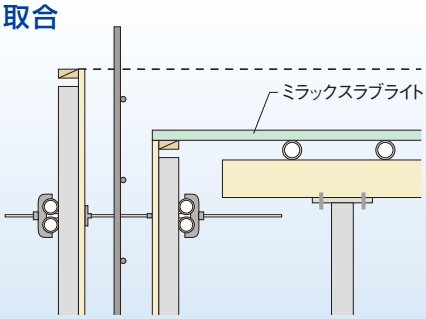
●姿図

●小梁との取合

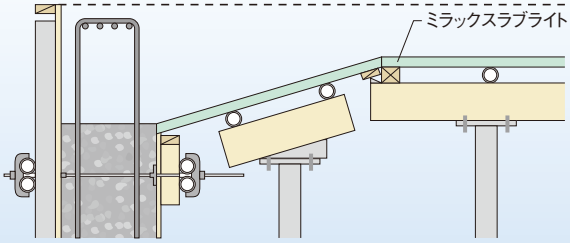




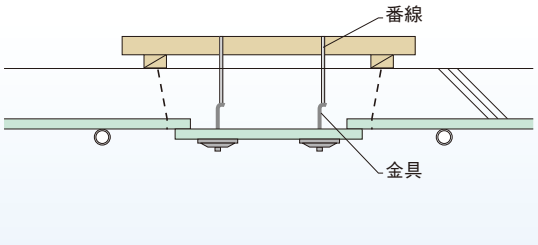
●壁との取合

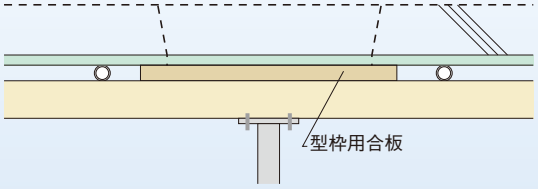


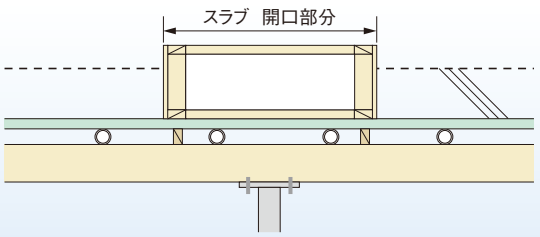
●床･ハンチ



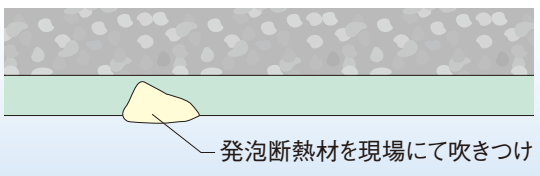
だめ穴の修復例







欠損部分の補修例



《取り扱い注意事項》

●火気厳禁（溶接厳重注意）

火気に接触すると燃えます。ミラフォームは燃えると黒煙を発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分に注意すると共に、適切に養生してください。特に溶接・溶断等の火気を使用する場合、火花が当たらないように不燃シートなどで必ず養生してください。ミラフォームの酸素指数は26以上です。

●火気注意（保管・換気について）

ミラフォームに使用している発泡剤は可燃性ガスを使用しており、製品に微量残留しています。この可燃性ガスは、保管・施工中に大気中へ徐々に逸散し、空気よりも重いことから、ピットなどの掘り下げた閉鎖的な空間に滞留しやすい性質があります。可燃性ガスが滞留し爆発限界を超える状況下で火気に触れると火災や爆発が発生する可能性があります。そのため輸送・保管・施工時には火気と換気に十分注意してください。特に閉鎖空間での保管や施工に際しては、可燃性ガス（発泡剤）が滞留しないよう場所の選定や換気の意図的導入など設計・施工管理における注意が必要です。

●紫外線注意

直射日光に長時間曝すと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。

●有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防腐・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。

●高温注意

使用温度は70℃以下です。直射日光等による急激な温度上昇や多湿状態では70℃以下でも変形が起こる場合があります。
養生シートで覆う等、高温多湿状態にならないようご注意ください。

●割れ・踏み抜き注意

局部圧縮や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地のない箇所には乗らないでください。

●強風注意

軽量で取扱が容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。

●その他の注意

（1）フォームの屑が目に入った場合は、こすらず流水で洗浄してください。
（2）熱線スライス等、煙の発生する作業を行なう場合は、換気を十分行なってください。
（3）燃やすと黒煙（スス）がでますのでご注意ください。（廃棄の際は条例に従って処理してください。）
（4）鳥、鼠、昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

以上の注意事項に関しては、一般的な取り扱いを対象としたものです。それ以外の使用に関してはお問い合わせください。

株式会社 JSP 建築土木資材事業部　ホームページ　www.co-jsp.co.jp

東日本建材営業部
札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル） TEL 011-231-2681（代） FAX 011-231-7850
仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1（青葉通パークビルディング） TEL 022-262-3271（代） FAX 022-266-9583
東日本建築グループ 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル） TEL 03-6212-6362 FAX 03-6212-6369
西日本建材営業部
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル） TEL 052-962-3225（代） FAX 052-962-3252
大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル） TEL 06-6264-7903 FAX 06-6264-7913
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17（Totsu Biz Hakata Frontビル） TEL 092-411-6863 FAX 092-474-2706
工場 北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場

お問い合わせ

VEGETABLE OIL INK このカタログは再生紙を使用しています。

2026.11.0000